

**「南陽市自分ごと化会議」からの  
中学校のありかたについての5つの提案  
～市立中学校の教育環境を考える～**

**2023年11月23日**

**「南陽市自分ごと化会議」委員一同**



## < 目次 >

1	「南陽市自分ごと化会議」の概要.....	3
2	「南陽市自分ごと化会議」からの提案.....	5
3	付録：アンケート結果.....	18
	南陽市自分ごと化会議第1回参加者アンケート結果.....	18
	南陽市自分ごと化会議第2回参加者アンケート結果.....	22
	南陽市自分ごと化会議第3回参加者アンケート結果.....	25
	南陽市自分ごと化会議第4回参加者アンケート結果.....	28

## はじめに

無作為に選ばれた私たち委員は 2023 年 7 月から 10 月まで 4 回にわたって、市立中学校の教育環境について議論を重ね、最終的には 5 つの提案にまとめました。

これまでの議論から私たち委員には、「中学生のしたいことをかなえてあげたい」「できる限りこのまちで長く過ごしてほしい」という共通した思いがあることがわかりました。中学生一人ひとりがその可能性を十分に伸ばし、成長するとともに、南陽市という故郷を愛してほしいという思いです。

人口減少とともに市の中学生数は減少が続いており、今後もこの傾向は大きく変わらないと予想されます。生徒一人ひとりにきめ細かな教育が提供できるなど、小規模校には小規模校の良さがありますが、教員の確保やチームスポーツの運営、他の生徒と切磋琢磨しながら多様な体験をするためには小規模校には限界があるということに気が付きました。

また現在、市内中学校 3 校のうち、2 校については建築から 40 年を経過しており、大規模な修繕や建て替えを行う時期にさしかかっています。3 校の中学校を運営する南陽市では、3 校分の維持管理費用がかかるだけでなく、ICT 環境、空調設備やバリアフリー化など、現代に求められる設備を維持していくためには大掛かりな修繕費用も必要になります。学校施設は単なる教育施設ではなく、地域にとっても関わりの深いものであることから、私たち市民も含めて今後のありかたを考えていくことが重要です。

さらには、市全体が学びの場となり、中学生に南陽市が誇る産業や文化、歴史を知ってもらうだけでなく、私たち市民ができることをしたり、地域と中学校が助け合ったりすることで、子ども、大人に関わらず、南陽市全体を人が成長できる環境にすることが出来ると思います。そうした中で、中学生を含む私たち一人ひとりが、地域に支えられ、地域を支える関係がつくられると考えます。

今回の自分ごと化会議では実体験に基づく提案が多数出ました。この提案を市としての考えに活かしていただくことを強く望むとともに、今まで以上に行政と私たち市民がオール南陽として南陽市の課題解決に向けて取り組んでいきたいと思えます。

令和 5 年 11 月  
南陽市自分ごと化会議委員 一同

## 1 「南陽市自分ごと化会議」の概要

### (1) 名称

「南陽市自分ごと化会議」

### (2) 委員の選出

住民基本台帳から無作為に抽出し、 委員参加の案内を送付した数	1,000名
応募（参加）した委員 （応募率）	31名 (3.1%)

### (3) 委員名（50音順）

青野 龍之介	伊藤 純子	遠藤 秀貴	加藤 敦之
加藤 寧々	菅野 俊輔	小関 隼矢	後藤 彪雅
笹木 明美	佐藤 健	佐藤 瞬太郎	佐藤 智幸
佐藤 玲愛	須貝 野乃子	須貝 美樹子	鈴木 亜衣
鈴木 絢子	高橋 翔	高橋 美晴	竹田 心海
長倉 れい	濱野 研治	松林 紗希	山木 咲々
山口 遥輝	吉田 茜	吉田 町子	

※ 承諾いただいた方のみ名簿に記載しています。

### (4) コーディネーター

石井 聡 （逗子市福祉部長）

(5) テーマ及び各回の議論

- ・テーマ：「南陽市の中学校の教育環境を考える」
- ・各回の議論

(ア) 第1回会議：2023年7月23日（日）

- ・自分ごと化会議の概要説明（構想日本）
- ・テーマについての現状と課題の説明（市）
- ・委員の自己紹介 など

(イ) 第2回会議：2023年8月20日（日）

- ・「南陽市の中学校教育の現状」などについて議論
- ・改善提案シートの記入 ほか

(ウ) 第3回会議：2023年9月17日（日）

- ・ナビゲーターの参加
- ・「中学校と地域の関わり」などについて議論
- ・改善提案シートの記入 ほか

(エ) 第4回会議：2023年10月21日（土）

- ・提案書（案）をもとに修正点について議論
- ・意見提出シートの記入 ほか

※各回の議事録は南陽市 HP に掲載されております

## 2 「南陽市自分ごと化会議」からの提案

以下の提案は、「南陽市の中学校の教育環境を考える」というテーマに関して、私たち会議参加者が4回にわたって議論してきたことや各回で記載した「改善提案シート」の内容を中心にまとめたものです。

提案

1. 地域の宝を生かし、地域に貢献する学びをつくる

提案

2. 地域に中学生が安心して過ごせる場をつくる

提案

3. 一人ひとりを大切にする教育環境をつくる

提案

4. 多様な体験の機会が提供される教育環境をつくる

提案

5. よりよい学びのための設備を整える

## 1. 地域の宝を生かし、地域に貢献する学びをつくる

南陽市では、市民一人ひとりが学校・地域の枠を越え、市民総ぐるみで取り組む「地域総合型教育」を中核に置き、幼保小中一貫で地域や家庭、学校が連携・連動したり、体験活動など「本物に触れる機会」を大切にしたりする、地域に根ざした教育を行っています。

生徒が成長を共にしたこの地域には、素晴らしい産業や文化、歴史があり、これらの魅力や誇りを地域主導で伝えることが重要です。その結果、郷土のことを理解し愛着を持ち、郷土のために行動できる大人に育つことで、未永くこの地域において活動したり、たとえ市外に出ていったとしても離れた場所から郷土を思い応援したりすることにつながります。

### 「提案1」の実現に向けて、それぞれが行うこと

#### 私たち 市民

- ① 地域の行事や活動（雑草取りなどの環境整備、本の読み語り、登下校の見守りボランティアなど）に参加する
- ② 地域の会議で発信する
- ③ 中学生への声かけを行う
- ④ 機会があれば中学校に行く
- ⑤ 地域の人の特徴を知る
- ⑥ 中学校の情報にアンテナをはっておく
- ⑦ 親や地域住民が職業について中学生へ話す場をつくる

#### 地域

- ① 市報などで南陽市の職業のPRページを作る
- ② 歴史、施設、文化など地域のことを整理して紹介する
- ③ 中学校に行き南陽市のことに関する講義を行う
- ④ 中学生がもっと地域に関わる機会を作り、地域の行事に協力してもらうことで中学生の社会参加の機会を増やす
- ⑤ 中学生と大人が共に学ぶ機会を設け、共に成長できる環境を作る
- ⑥ 市内の観光地や企業に実際に行き学習する機会をこれまで以上に増やす



## 行政

- ① 新規企業の立ち上げサポート
- ② 地域や企業に対して講師をお願いする
- ③ 中学校の行事に地域をもっと巻き込む
- ④ 小中学校でのイベントで南陽市のアピールをする
- ⑤ 教員向けに地域のことを研修する場を複数回設ける
- ⑥ 地域の特産品で制作活動をする学習の機会を設ける

## その他の 主体

- ① 高校の先生だけではなく高校生も中学校を訪問し、生の声を届ける
- ② 地域の学校として、学校側は地域の援助に対して考える機会を作る
- ③ 地域住民（趣味の会や老人会）に中学校の空き教室などを提供する
- ④ 南陽市内の企業や施設が中学校に協力する（例えば、本物に触れる機会や製造過程を知る機会の提供、重機の貸し出し、専門知識の共有など）

### «その他の意見»

- ・ 大きな観光パンフレットに載っているような有名施設ではなく、地域の小さな神社のいわれや先人の願いなどをきちんと調べ、整理しておいて中学生に教える機会の参考にする。
- ・ 会議の中で「高校生から中学校に行く」とあり、機会があるなら行きたいと思った。私が中学のとき、高校の先生が説明しに来る機会があったが、生徒の生の声を聞きたいと感じた。
- ・ 中学生自身が思い出深い生活を送ることができるような教育環境になればいいなと思う。

## 2. 地域に中学生が安心して過ごせる場をつくる

南陽市では若い子どもに対するサポートは手厚いものの、公共の自習施設が図書館しかないことや、生徒同士が集まって勉強以外のこともできるスペースが不足しているなど、地域に中学生が過ごせる場が少ないことがわかりました。生活様式の変化に伴い、常に自宅に家族がいる状況ではない現代では、中学生の放課後の居場所の整備が求められます。

### 「提案2」の実現に向けて、それぞれが行うこと

#### 私たち

- ① 今ある公共施設を積極的に使う

#### 市民

- ② 学校教育に可能な限り協力する

#### 地域

- ① 部活動の地域移行、協力員での参加、学校支援ボランティアなどに協力する
- ② 中学生が自習に使うことができる場所を増やすために地元の企業に声をかけてみる

#### 行政

- ① 新しく公共施設を建てずに、使える施設を利用してもらう
- ② 自習専用の場所を設ける
- ③ 自転車通学を認める
- ④ 公共施設を中学生、地域のニーズに合わせて提供する
- ⑤ スクールバスを通学だけでなく、中学生の移動手段として活用する
- ⑥ 公共施設側から、当該施設は中学生がどのように活用できるか提案してもらう

#### その他の

#### 主体

- ① 企業の一室を貸すなどして中学生が利用できる場所を提供する

#### «その他の意見»

- ・ 「当事者の声を聞く」という言葉にハッとさせられた。

### 3. 一人ひとりを大切にする教育環境をつくる

多感な時期である中学生はそれぞれが目に見えない悩みや不安を抱えています。これらを解消するためには、それぞれの立場から生徒一人ひとりに目を向け、一体となって関わっていくことが求められます。そのためには、教職員や学校関係者だけでなく、年齢の近さから中学生が気軽に話することができる高校生や大学生をはじめ、地域住民の幅広い協力体制を構築する必要があります。これにより、当事者のケアの体制を拡充できるだけでなく、様々な立場や状況に共感し共に生きていくために必要なことを考え、行動できる生徒の育成にもつながると考えます。

#### 「提案3」の実現に向けて、それぞれが行うこと

##### 私たち

##### 市民

- ① 不登校や悩みを抱える生徒の声を聞く
- ② 障がいや性的マイノリティのことなどについて理解を深める
- ③ 車いすの使い方や介助についての注意点を学び、サポートする
- ④ パラスポーツに触れる機会を増やす

##### 地域

- ① 中学生とコミュニケーションをとる
- ② 中学校から必要とされている場に積極的に参加する
- ③ 閉鎖的にならず、多様性を認める
- ④ 発達障がいのある子をサポートする施設を作る

##### 行政

- ① 中学校にカウンセラーが常駐できるよう、人材の確保、雇用条件の見直しをする
- ② 中学生の要望などを知るアンケートなどを積極的に行い、それに応じて対応する
- ③ 制服を選択制にするなど様々な生徒に配慮した環境を整える
- ④ 校則を見直し、一人ひとりの個性を尊重できる環境にする
- ⑤ 性教育や障がいのことなど、身近な違いを理解するための授業を行う

---

<b>その他の</b>	① 企業ができることを提案し、学校や地域と協力しながら実施する
<b>主体</b>	② キャリア教育や職業体験などで様々な生徒を受け入れてもらう

---

«その他の意見»

- ・ 障がいや難病のある子は通うことができる学校の幅が狭い。誰でも地域で学ぶことができるように前例のないことをやってほしい。
- ・ 不登校や、生きづらさを感じていたり、長期休みに居場所がない生徒が気軽に通うことができるスペース（第三の居場所）を整備すべき。小学生などもっと小さな子どもが利用できるスペースは市内にもあるが、中学生向けの場所はあまりないように感じる。主体は行政や地域、民間企業などと事例によってさまざまなものがある。（提案2にも共通する）

## 4. 多様な体験の機会が提供される教育環境をつくる

生徒数の減少により、部活動や各行事などの集団での活動の規模が縮小する傾向にあります。これは、互いの人間関係が深まったり、一人ひとりにきめ細かな対応が可能な反面、多様な考えに触れたり、多様な体験をしたりする機会が減ってしまうこと、そして幅広い人間関係や社会性が育ちにくいことが懸念されます。これらを解消するため、統廃合を含めた学校の配置の検討が必要です。いま、私たち市民や民間事業者が、多方面にわたり積極的に関わり協力することで、中学生に多様な体験の機会を提供できる教育環境を整えることが重要です。

### 「提案4」の実現に向けて、それぞれが行うこと

#### 私たち 市民

- ① 各中学校で実施している部活動の種類や部員数を知る
- ② 南陽市が「強い/力を入れている」と認識されているスポーツや文化活動について知る（全国大会への出場など）
- ③ 生徒のニーズや市からの情報を知るため、自発的にインターネットなどを活用して情報を集める
- ④ 親や地域住民が職業について中学生へ話す場をつくる

#### 地域

- ① 各分野の経験者は指導者（外部コーチなど）として協力する
- ② 南陽市や各地域で力を入れている（特色ある）スポーツや文化活動をみんなで共有する
- ③ スキーを教えられる人を学校に派遣する
- ④ 生徒や市のニーズの中で、可能な範囲において行政のサポートをする
- ⑤ 市報などに地域からも発信する
- ⑥ 高校と中学校を結ぶ機会をつくる
- ⑦ 市内の各地域に縛られず、オール南陽で議論する

#### 行政

- ① 知識のある先生や民間事業者に部活動の指導をお願いするとともに地域住民からも協力者を募る
- ② 各学校や地域の状況、生徒の要望等の把握、周知に努める

- ③ 部活用のスクールバスの運用を開始する
- ④ 特定の分野の指導者を招致するなど、市を挙げてスポーツ/文化活動を盛り上げていく機運を高める
- ⑤ 部活の強制参加や、移動手段がないことなどの外的要因によって生徒がしたいことをあきらめることがない環境を整える
- ⑥ 試合会場や活動場所の提供、市報での呼びかけ、学校間の連絡調整を行う
- ⑦ 学校の今後のことについての検討の場において委員を選出するときは充て職で安易に選ぶのではなく「人」で選ぶ
- ⑧ 教員の配置の適正化、市費負担による協力員の増設、スクールサポートスタッフを拡充する
- ⑨ 部活と地域が関わることを設ける
- ⑩ 合同で練習できるような場所とコーチの確保をし、学校同士でチームを作る
- ⑪ 個人で行う種目（文化部含む）については、学校の枠をこえて活動する
- ⑫ 市民や地域に対して部活への積極的な協力を要請する
- ⑬ 中学生や高校生などに学びの環境について声を聞く
- ⑭ 午後の授業に集中できない生徒がいるため、30分程度の昼寝の時間を導入する

## その他の

### 主体

- ① 一般のスポーツチームや文化サークルと中学生が共同で活動する機会を設ける
- ② スポーツ団体や文化・芸術関係団体からも、中学生向けの競技会や講座を積極的に開催していく
- ③ 民間企業の用具の貸し出しの利用を増やす
- ④ スポーツ経験者によるクラブチームを結成する
- ⑤ SNSで発信し、有志による指導などを行う
- ⑥ 学校主催ではない職業体験の機会を設ける

«その他の意見»

- ・ 部活動の柔軟化の問題については、部活動の地域移行化とも密接に関係することであり、教員の働き方改善にもつながる。また、「部活用のスクールバス」については、各学校と活動場所（他の学校や外部施設）まで生徒を送迎するもの。
- ・ 部活の時間を区切ることで、メリハリのある活動ができ（長時間の活動にならない）、各学校の教員の負担軽減にもつながる（月曜はA中、火曜はB中の教員が部活を見る、といった状況）。
- ・ 将来的な中学校の統合については、人口減少・少子化に加え、現校舎の耐用年数や市の財政状況等を考慮しても、議論を先送りできない問題と考える。先日の会議では、高畠町や川西町は1校に統合した、と話されていた委員がいたが、米沢市についても明確なロードマップが示され、将来的に3校になることが決定している。
- ・ 南陽市において、もし将来にわたり「統合をしない」という選択をし、現行の3校のままでいったとしても、学校運営を考える際、ハード・ソフトの両面で様々な問題が生じることが懸念される。特に、この時世、小規模校だとデメリットの方がメリットを上回ると思うが、そのようなメリット・デメリットについても整理する必要があると思う。
- ・ 南陽市の歴史的経緯を考える際、仮に1校に統合するとした場合、市民からはどこ（赤湯・宮内・沖郷）に建てるか（どの中学校を存続させるか）について様々な意見が出ると思われるが、市民アンケートを実施するなどし、具体的に動いていかなければならないものとする。
- ・ 少しでも人口減少を食い止めるため、若者の南陽市への定住促進はもちろん、南陽市へのUターンやIターン、移住についても力を入れていく必要があるものとする。
- ・ 生徒数減少はいいことも悪いこともあり、決して小規模校が悪い訳ではないし、大規模校で一人ひとりに目が届きにくいから悪いということでもない。
- ・ 部員の数が減って、他校と組んで部活動ができるからいいということでもないと思う。やはり一つの学校としての活動できることとは違うと思う。学校全体の生徒のまとまりや一体感は違うのではないか。スキーだけではなく、その他のウィンタースポーツの選択肢があってもいいかと思う。また、運動が苦手な子どもの

ために将棋やチェスなどのボードゲーム、その他当事者である子どもたちが求めるものに触れる機会があっても面白いと思った。



## 5. よりよい学びのための設備を整える

市の中学生それぞれが自分のしたいことをし、個性を伸ばしていくためには、一定の生徒数を確保した学校で十分な機会を与えるとともに、時代に合ったよりよい学びのための設備を整えていく必要があると考えます。同時に、学校は避難所に指定されていることから、地域にとっても重要な施設です。よりよい学びのための設備を整えるには、近い将来における中学校の統合や大規模改修は避けては通れない道であり、市全体として方向性を決めていくべき課題だと考えます。

### 「提案5」の実現に向けて、それぞれが行うこと

#### 私たち 市民

- ① 中学校の生徒数の変化の実情や今後の予測数を知る
- ② 市民プールを積極的に利用する
- ③ 中学校を新設するか改修するか考える

#### 地域

- ① 将来的な中学校統合の必要性を認識する
- ② 統合後の空き校舎の利活用について行政とともに議論する
- ③ 地域と学校の繋がりを再考するため住民発意で説明会を実施する
- ④ 校舎の見学を行い、実体験をもって学習環境として適切かどうかの確認をする
- ⑤ 校舎を新しくするのは経済的に困難であることから、生徒と一緒に校舎の掃除をする

#### 行政

- ① 将来的な中学校統合の議論について、少子化、現校舎の築年数の問題も含めて避けては通れない課題であることを市民に知ってもらう
- ② 空き校舎の利活用方法について地域とともに議論する
- ③ 部活動、授業で使用できるプールを作り、休日や時間帯によって市民も使えるようにする
- ④ 校舎建て替えのための予算確保と広報活動を行う
- ⑤ 公共施設の利用状況の把握と課題の認識をもとに、学校施設の活用や学校施設との併設が可能か否かの検討をする

- ⑥ 使用されていない学校の施設を公民館や図書館、地域の集会所などとして有効活用できないか検討する
- ⑦ 中学校を統合する際は交通の便のことや道路状況などをはじめとして生徒のことを考えて設置場所を検討する
- ⑧ 地域における学校の存在の重要性と、安全な学習環境作りのためのサポートの重要性を地域民に繰り返し説明する
- ⑨ 実際の利用者や有識者の声を聞きながら、設備を理由に学校選択の幅が狭まらないように中学校のバリアフリー化を進める
- ⑩ 利便性や安全を考慮し、必要に応じてスクールバスを導入する
- ⑪ 学識経験者や民間コンサル等の専門家の意見を取り入れたり、他自治体の事例を参考にしたりしながらよりよい学校施設について考える

## その他の

### 主体

- ① 民間企業が公共施設の管理をする
- ② 学校の設備を拡充できるよう寄付金に協力する
- ③ それぞれの立場で学校説明会、地域の行事等に積極的に参加し、学校や地域の課題を把握する

### «その他の意見»

- ・ バリアフリー、ユニバーサルデザインを考慮した設備が整っていないことに関しては、必要とする人がいないから問題にならないのではなく、必要な人はそれらが無い施設を避けるから問題視されていない。
- ・ 学校施設を維持管理するために必要な年平均額3パターンのシミュレーションでは、いずれのパターンも大掛かりな予算が必要である事、特に改修の場合もことのほか費用が掛かることがわかり驚いた。また、公共施設の維持管理費も大きく、改めて市民、利用者として考えなければならないことが沢山あることに気が付き学びになった。子供人口の減少により学校の統廃合は避けられない現実とは思いますが、それに伴うデメリット（地域から学校がなくなることは地域の衰退につながる、統廃合による子供の精神的・身体的負担の増加）を忘れず、地域民が積極的に学校（学生）を守っていかなければならないと痛感した。
- ・ 将来を見据えた学校の統廃合等について行政中心ではなく、地域住民との合意形成を目指す。

- ・ 東南置賜地区の高校の統廃合とも関連するので、高校統廃合の議論も注視する

### 3 付録：アンケート結果

#### 南陽市自分ごと化会議第1回参加者アンケート結果

令和5年7月23日実施分

回答結果：19人

##### 1. 第1回の会議に参加してみても良かったか。

回答	とても良かった	良かった	あまり良く なかった	まったく良く なかった	どちらとも いけない	計
人数	9	10	0	0	0	19
比率	47%	53%	0%	0%	0%	100%

■とても良かった ■良かった



##### 2. 全体会議の時間は十分でしたか。

回答	長かった	ちょうどよかった	もっと話したかった	計
人数	2	15	2	19
比率	11%	79%	11%	100%

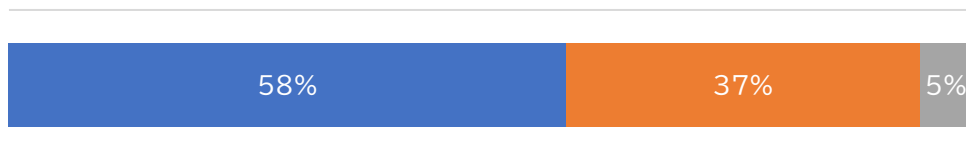
■長かった ■ちょうどよかった ■もっと話したかった



### 3. 対話において安心して話せる雰囲気でしたか。

回答	大変そう思う	まあそう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない	計
人数	11	7	1	0	19
比率	58%	37%	5%	0%	100%

■ 大変そう思う ■ まあそう思う ■ あまりそう思わない



### 4. 会議に参加しようと思った理由を教えてください。(自由記述)

- 教員志望のためテーマに興味があったから。また、1000人の中に選ばれたなら行ってみたいと思ったから。
- 1000人の中に選ばれたから。
- 孫が難病で障害を持っていて毎日ホーディーでお世話になり、上山ゆきわり学園の中学部に通学しているのですが、これからどういう風に関わっていったらいいのか参加して若い世代の話とかも聞いてみたかったこと。若い方も意見を持っていて素晴らしいと感じました。
- 自分が教員を目指しているということもあり、教育について異なる視点で見たいと思ったから。また、地域に貢献できると思ったから。
- 今まで市のことに興味がなかったのでこの機会に参加しようと思った。
- 会議のコンセプトに共感した。特に無作為抽出で選ばれた市民が参加するといった点。
- 経験値として得たかった。
- おもしろそうな取り組みで今後の自分の活動に役立つと思ったので参加しました。
- 興味深い企画だと思った。地域活動に多少の貢献ができれば・と考えた。
- 地域に対して自分ができることがあれば協力したいと思った。
- これからの南陽市のことを皆さんどう考えているか知りたかったから。
- 南陽市について知りたかった。

- 大人になったら地域行政について関わりたいと思ったから。
- 子どもがこれから中学に入るため、今の現状と課題を知るため。様々な年代の方の視点を知るため。
- テーマが「中学校の教育環境を考える」であったので、将来子どもが中学生になるときに何か影響があるかと思い参加しました。
- 学校で行われる話し合いなどとは違い、幅広い年齢層の方々の意見を聞くことができ、その中で自分の意見を言うということは自分にとってとても良い経験だと思ったから。
- 自分の意見で南陽市が良くなればと思ったから。息子が中学生なので。
- 中学校の教育現場（教師、生徒両方の）ことを知るため。ランダムに選ばれた人で話し合うおもしろさ。
- 高校で、先生にこの会議のことを相談したら「参加した方がいい」と言われたため。自分が中学校で感じたことを伝えてこれから中学生になる人のためになってほしいと思ったため。

## **5 . 次回以降の会議に向けての要望や今日の感想等がありましたらご記入ください。(自由記述)**

- それぞれが意見を出すばかりで深まりがなかったように感じた。もっとテーマを絞って深い話し合いができればよかった。
- 挙手してマイクを使って意見を述べる方法がとてもやりやすかった。
- 大変有意義な会議にしていきたいと思う。
- 安心して発言できた。雰囲気良かった。
- 活発な意見交流ができたので良かったです。
- コーディネーターの方の進め方が「さすが」と思った。話しやすい雰囲気だった。スタッフの靴音が少々耳障りだった。
- 石井コーディネーターの進め方が素晴らしい。話しやすい雰囲気を作っていた。
- 高校生が多くて驚いた。
- とても楽しい会議になった。新しい発見について見つけられた。

- 会議に参加し、知らない部分を知れた。普段の生活で中学校、中学生について考えたい。
- 参加者が全体的に若い（高校生が多い）ため、前向きな意見が多く、それに引っ張られて後半から特に活発だったと思います。次回のテーマ作りが一番重要と思います。
- マイクを使っての話し合いではなくもっと話しやすい環境だともっとよかった。
- 教師の話、参加者同士のグループワークなどできれば・

## 南陽市自分ごと化会議第 2 回参加者アンケート結果

令和 5 年 8 月 20 日実施分

回答結果：17 人

### 1 . 第 2 回の会議に参加してみてもいかがでしたか。

回答	とても良かった	良かった	あまり良く なかった	まったく良く なかった	どちらとも いけない	計
人数	7	9	0	0	1	17
比率	41%	53%	0%	0%	6%	100%

■とても良かった ■良かった ■どちらともいけない



### 2 . 市職員の説明や質問に対する答えはわかりやすかったですか。

回答	とても分かりやすかった	分かりやすかった	分かりにくかった	とても分かりにくかった	どちらとも いけない	計
人数	6	10	0	0	1	17
比率	35%	59%	0%	0%	6%	100%

■とても分かりやすかった ■分かりやすかった ■どちらともいけない

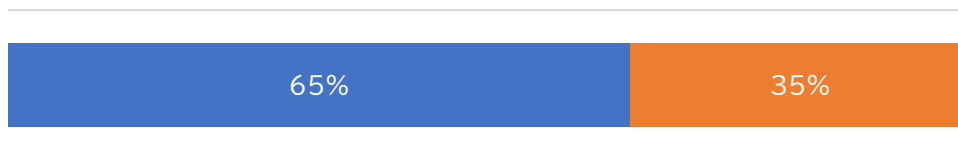




### 3. コーディネーターの進行やまとめ方はわかりやすかったですか。

回答	とても分かりやすかった	分かりやすかった	分かりにくかった	とても分かりにくかった	どちらともいえない	計
人数	11	6	0	0	0	17
比率	65%	35%	0%	0%	0%	100%

■とても分かりやすかった ■分かりやすかった



### 4. 第2回会議で新たな発見や気づきはありましたか。(自由記述)

- 自分の住む地域以外のことを多く知れた。
- 中学校の建物を新しく建てるより、改修した方が良いとわかった。
- 少子化について、様々な意見が聞けて良かった。
- 前回来ていなかった人が来て話が深まった。テーマについてもう一度考えることができた。
- 1つするにしてもいっぱい問題とかが絡むんだなあと思いました。
- 中学校のこと、中学生のこと、知らないことだらけでした。
- 居心地のいい中学校になればいいので、今回の様々な意見を参考にされて行政に活かしてほしい。
- 様々な立場の方の意見が聴けておもしろかった。
- 南陽市出身でないため現在の中学校の状況を詳しく知れることができた。自分が中学生だったころの経験や思い出をもとに、今の中学生にも楽しい青春時代を送ってもらいたいなと改めて感じた。
- 様々な方の考えを聞くことができ、多くのことを気付くことができた。
- 市としての教育に対するビジョン、必要経費のシミュレーションについて。
- 課題が難しい。
- 若い方々が多く意見が出て南陽市の良い所、悪い所指摘がたくさん出てとても良かった。

ったと思います。少子化になって来た今これからどう工夫したらよいか、とても良い意見が聞けた。

## **5 . 次回以降の会議に向けての要望や今日の感想等がありましたらご記入ください。(自由記述)**

- 次の会場の駐車場が狭いので、事前に確保できないか。
- 一度しか発言できなかったのが、次回たくさん発言したいと思った。
- 今回の会議では、正直自分はほとんど力になることができなかった。次回は少しでも力になれるようにしたい。
- マイクなしでも大丈夫でした。
- マイクは必要だと感じた。
- もっと情報を集めたいなと思いました。マイクはいらないと思った。
- 南陽市に住んで日が浅いですが、良いところだと感じています。中学生が大人になったときに、いい街だ、ここで学び、生活してよかったなと思える街になればいいと思いました。
- 最終的な目標をはじめに設定してほしいです。着地点がふわふわしているように思います。
- 話し合いの着地点がはっきりしないので、意見出しづらいかもしれません。
- 声が反響したり、小さい人、遠い人の声が聞き取りにくかったのがマイクがあるとよかったです。同じ人ばかり話す流れにならないようにある程度ランダムに指名したりしても面白いと思います。
- マイクを使ってほしい。声がかくぐもる。
- 声が聞き取りにくい方がいたので、マイクがあればよいと思った。
- マイクがあったほうが聞きとりやすい。前回より進行はよかった。(マイクがないほうがスムーズだった)
- これからの統合に関しても市や若い人たちと話を聞いてみたいと思います。

## 南陽市自分ごと化会議第3回参加者アンケート結果

令和5年9月17日実施分

回答結果：15人

### 1. 第3回会議に参加してみてもいかがでしたか。

回答	とても良かった	良かった	あまり良く なかった	まったく良く なかった	どちらとも いけない	計
人数	5	9	0	0	1	15
比率	33%	60%	0%	0%	7%	100%

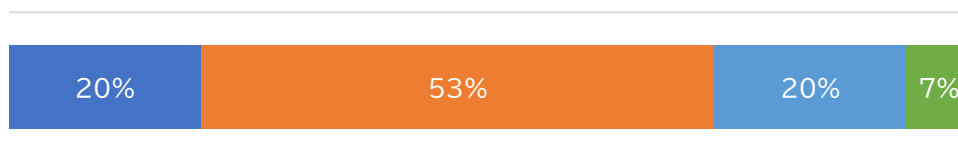
■とても良かった ■良かった ■どちらともいけない



### 2. 市職員の説明や質問に対する答えはわかりやすかったですか。

回答	とても分かり やすかった	分かりやす かった	分かりにく かった	とても分かり にくかった	どちらとも いけない	無回答	計
人数	3	8	0	0	3	1	15
比率	20%	53%	0%	0%	20%	7%	100%

■とても分かりやすかった ■分かりやすかった ■どちらともいけない ■無回答



### 3. コーディネーターの進行やまとめ方はわかりやすかったですか。

回答	とても分かりやすかった	分かりやすかった	分かりにくかった	とても分かりにくかった	どちらともいえない	計
人数	5	9	0	0	1	15
比率	33%	60%	0%	0%	7%	100%

■とても分かりやすかった ■分かりやすかった ■どちらともいえない



### 4. ナビゲーターの話聞いて新たな発見や気づきはありましたか。(自由記述)

- 横須賀市は、児童や生徒の人数が多いからこそ活動があったり、南陽市でもできそうな活動をしていて、勉強になった。
- 横須賀市というととても大きな都市のイメージですが、南陽市と共通の問題があることに驚きました。
- 人口が多いところでも少子化は起こることが分かった。
- 他の地域を知ることができた。
- 自分の市以外の問題点を詳しく知ることができた。いろいろおもしろかったです。
- 神奈川は規模が違う。
- 地域が異なると行っていることが南陽市と違うところや似ているところがあり、考え方が多様だと思いました。
- 市の規模は違うが、南陽市が直面する状況を多々経験されているとのことで参考になった。
- 学校の統合について反対意見として地域の人々の愛着が大きく関係しているのを知った。
- 地域が学校を支えていくというのはその通りと思いました。PTA や子どもがいる間はつながりがありますが、卒業とともにつながりがなくなるので。
- 学校を自由に選ばれることも含めとても子供たちの環境を選択できること。
- 他地域の取り組みや課題が知れ学びになった。自分たちの学校は自分たちでやって

いくという発想が新鮮だった。

- 学校が統合される際にどのようなことを考えたり、どのような意見が出るのか初めて知ることができた。
- 統合に向けた動きがわかりやすかったです。自分たちの学校は自分たちでやっていく、自分もそういう考えになればいいな。

## **5 . 次回以降の会議に向けての要望や今日の感想等がありましたらご記入ください。(自由記述)**

- 少し考えはまとまっていたが、中々言い出せずにいたから、次回は思いついたらすぐに手を挙げ、意見が言えるようにしたい。
- 意見が出せそうな場面でも、情報の補足や発言を促していただいて、とても話しやすかったです。やはり、部屋の規模が狭い方が言いやすいのかなと思いました。
- 当事者によりそい学校の方針を考え直す必要があると感じた。
- 議会の内容が難しかった…。えくぼプラザがいいです。
- 第一回より発言のしやすさがなかった。神奈川の話に引きずられて、話の中で考えを広げられなかった。
- 前回出なかった意見が出ていてとても活発的な話し合いができたと思います。次回も南陽市のために頑張ります。
- 特になし
- えくぼプラザは声が良く聞こえました。ただし、薄板は全く見えませんでした。照明を考えればありかと思います。シェルターは明るいので疲れないのが利点です。
- 自由に意見を聞くのは大事だが、テーマをもっと絞れば深掘りできる討論になるような気がした。
- えくぼプラザの方が聞きやすい。

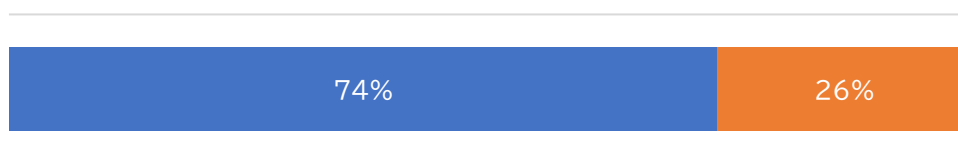
## 南陽市自分ごと化会議第4回参加者アンケート結果

令和5年10月21日実施分

### 1. 第4回会議に参加してみていかがでしたか。

回答	とても良かった	良かった	あまり良くなかった	まったく良くなかった	どちらともいえない	計
人数	14	5	0	0	0	19
比率	74%	26%	0%	0%	0%	100%

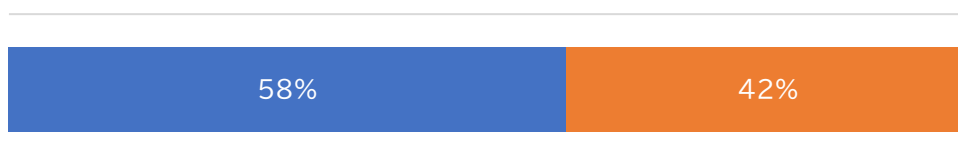
■とても良かった ■良かった



### 2. 今回の南陽市自分ごと化会議全体を通じての満足度を教えてください。

回答	とても満足	まあまあ満足	やや不満	不満	どちらともいえない	計
人数	11	8	0	0	0	19
比率	58%	42%	0%	0%	0%	100%

■とても満足 ■まあまあ満足



#### 理由

##### とても満足

- 年齢層が広だけあって、自分にはない考えや価値観の違いがあって、共感することや納得することが多くあったから。
- さまざまな年代の方の意見を聞くことができたので。

- 自分がこの会議に参加して若い方の意見が聞けて良かった。市のことを考える機会をいただいた。地域で自分が何ができるかを考えていきたい。
- 具体的な話につながっていたこと。様々な年代の意見が聞けたこと。
- 話し合いが活発的で、南陽市に関心がある人が多かったから。
- 南陽市についてこうなってほしいだとかあっても、自分ではできないが会議を通じて出来るんだと思えて南陽市っていいなとすごく思えた。
- 様々な世代の意見を聞くことができた。また、市関係部局の方々のおかげで中学校教育の現状も知ることができたから。
- 私自身の考えの幅、深さが広がったから。楽しかった。
- コーディネーターの方の進行やまとめが適切で非常に学びになった。

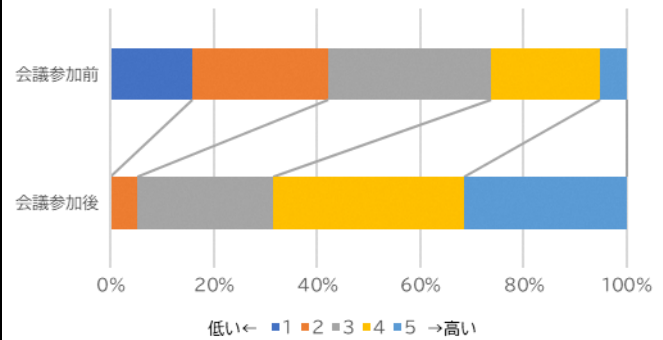
まあまあ満足

- 地域について自分ごと化して考える機会をいただけて大変ありがたかった。もう少し他の参加者と話し合う機会があると楽しく発見を出せたなと思った。
- 多様な意見が出るなか、わかりやすく集約していただき、意見しやすかったため。また、自分の住む地域について考えることで郷土愛を育むことができたから。
- 会議は大変活発でたくさんの意見が聞けてよかったです。石井さんの促しや否定しないスタンスが多く意見を集めたのだと思います。この会議がどう生かされていくかとても興味深いです。
- 様々なことを聞き、知見が広がった。しかし行政等がどう考えているのかも聞いてみたいと思った。
- 他の世代の意見を聞いて、自分の参考にすることができたため。
- 幅広い年代の人の意見が聞けたから。中学校について深く話し合ったので小学生や中学生の声も聞きたかった。
- 1つのテーマから、一人一人の感性の違いによる提案が出ることで、考え方の幅が広がりました。
- 年代、地域等様々な市民の意見を聞くことができ、大変よかった。

### 3. 南陽市自分ごと化会議に参加した前後で、あなたの税金や行政・議会への 関心や地域づくりに関わる頻度などに変化はありましたか。

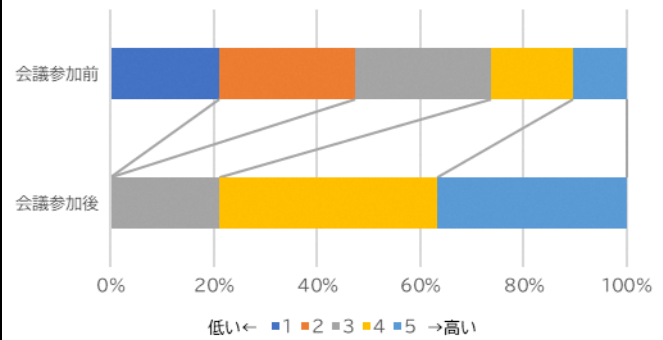
#### 税金の使い方への関心

回答	会議参加前		会議参加後	
	人数	比率	人数	比率
1 低い	3	16%	0	0%
2	5	26%	1	5%
3	6	32%	5	26%
4	4	21%	7	37%
5 高い	1	5%	6	32%
合計	19	100%	19	100%



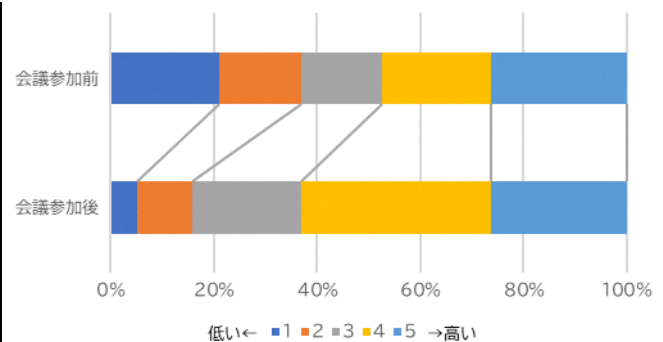
#### 行政や議会の情報への関心度（広報誌・HP や議会の傍聴等）

回答	会議参加前		会議参加後	
	人数	比率	人数	比率
1 低い	4	21%	0	0%
2	5	26%	0	0%
3	5	26%	4	21%
4	3	16%	8	42%
5 高い	2	11%	7	37%
合計	19	100%	19	100%



#### 自治会、ボランティア等地域づくりに関わる集まりに参加する頻度

回答	会議参加前		会議参加後	
	人数	比率	人数	比率
1 低い	4	21%	1	5%
2	3	16%	2	11%
3	3	16%	4	21%
4	4	21%	7	37%
5 高い	5	26%	5	26%
合計	19	100%	19	100%



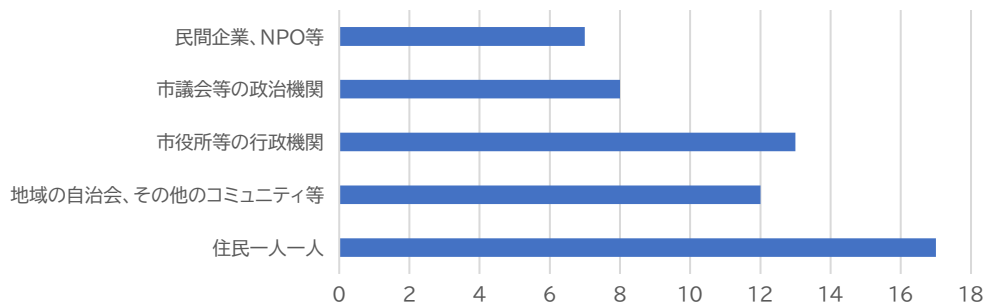


#### 4 . 質問3以外に、自分ごと化会議に参加して意識や行動の変化があった事などがあれば教えてください。

- 課題について幅広く考えられるようになった。
- 自分のまちがもっと好きになった。
- 「南陽のいいところ」「出身校のいいところ」ときかれて悩むことが多かったのですが、自信をもって答えられるようになり、大切にしていよいよしていきたいと考えるようになった。
- 市報や市からのお知らせ、同封されるお便りをすみずみまで見るようになった。
- 地域に目を向けるようになった。
- 市のホームページや市報、議会のたよりを前よりよく読むようになった。
- 南陽市のホームページを見るようになった。
- 南陽市の今を知ったりとかをしてそこから今の日本ってどんな感じなのかを知りたいと思って本を読んだりと変化があった。
- 自分の年代ではない年代の人のことも考えることが以前より増えました。
- これまでも父と問題（地域・日本）について話し合っていたけど、話の内容がより良く、深掘りできるようになった。
- 中学校に対する意識が変わった。若い人への意識が変わった。（まじめさ、熱心さに感激）
- 南陽市のことを知る、知ろうとするきっかけになりました。
- 地域課題の解決について、一般の市民からの意見を反映することの重要性を知った。

**5 . 南陽市をより良くするために特に重要と思う主体をお答えください。(複数回答可)**

回答	住民一人一人	地域の自治会、その他のコミュニティ等	市役所等の行政機関	市議会等の政治機関	民間企業、NPO等
人数	17	12	13	8	7



**6 . 今後とも引き続き市政運営にご協力いただけますと幸いです。現在、市の取組や町づくりに関する活動など興味のある分野はありますか。**

回答	興味のある分野がある	特定の分野はないが、市政全般に興味がある	特に興味のある分野はない	計
人数	9	8	1	18
比率	35%	59%	6%	100%

■興味のある分野がある ■特定の分野はないが、市政全般に興味がある ■特に興味のある分野はない



**7 . 今後、南陽市自分ごと化会議のように、住民同士で町の重要課題について  
議論・意見交換し、町へ改善提案できる場があれば参加したいと思いますか。**

回答	思う	思わない	どちらともいえない	計
人数	14	0	4	18
比率	78%	0%	22%	100%

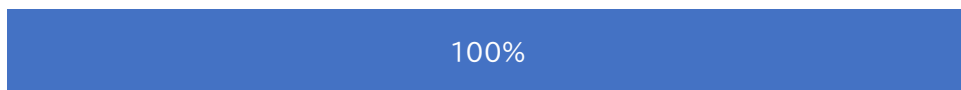
■思う ■どちらともいえない



**8 . 自分ごと化会議に参加したことで知識が深まった、勉強になったと思いますか。**

回答	思う	思わない	どちらともいえない	計
人数	18	0	0	18
比率	100%	0%	0%	100%

■思う



**9 . その他、全体を通じた感想やコメントを自由にご記入ください。**

- 今の南陽市についてや昔の南陽市についても知る機会になってよかった。
- とても面白い企画でしたので、ぜひ毎年開催し回数も増やしてほしいです。
- 会議を通して地域に対する愛を深め、みんなの意見を意見書という形で残せてとてもうれしかった。自分たちの意見書が出すだけで終わったら悲しすぎるので、市の方々には大変だとは思いますが少しずつ実施していったらうれしい。

- 今回、話し合いを通して、スムーズに進行をするための工夫や、多数の意見をまとめる技術がさすがだと感じました。私も話し合いの活動が多いので、参考にしたいと思いました。また、意見を聞くことで、自分の知識の薄さや、知らなかった南陽市のことに気づくことができ、とても楽しかったです。これからの私の財産になる経験をさせていただきました。ありがとうございました。
- 様々な年代の方の思い、考えを聞くことができ刺激を受けた。自分が中学生だったころのことからアップデートされた気分。貴重な機会をありがとうございました。第2回目の自分ごと化会議も楽しみにしています。
- どっちの味方でもない、発言を決めつけしないで意見を取り上げていただいた。コーディネーターの石井さんのすばらしい進行のおかげで充実した時間を持つことができました。ありがとうございました。
- 参加したことで多くのことを学ぶことができました。
- 参加させていただき、市を考え、知る機会となりました。これで終わりではなく、ここから実際に考え、できることからやっていきたいと思います。ありがとうございました。
- 全体を通して、あまり意見を言うことができなかったが、いい経験をするのができた。次またこのような機会があればぜひ参加したい。
- 幅広い年齢層の意見を聞くことができ良かったです。今まではあまり南陽市のことを考えていませんでしたが、この会議を通して考えるようになり、これからよりよい南陽市になればいいなと思いました。参加して良かったです。
- 私が参加した理由の南陽市を知りたいから始まり、そこから日本について知りたいとかに変化したりしていて、そして、楽しかったなって思います。今までであったことない人やこれに参加しなければ出会えなかった人に会えてよかったし楽しかったです。
- 石井さんの進行のおかげで発言しやすかったです。年齢層も異なっているけれど職種や業種も異なっていたので、様々な視点からの意見を聞くことがで

きてよかったです。とても勉強になりました。

- 広い年代が一堂に会し、話し合う機会等は日常生活においてあまりないと思う。そのような機会に参加できたことはありがたく、学びになった。今後もぜひ続けて行ってほしい。
- 幅広い年代の意見にハッとさせられることが多かったです。思ったよりも若い年代（特に子どもと同じ世代）の方の話が、自分の子供と話すよりも刺激があり、楽しかったです。





